

# 2017年度 第3回 特定非営利活動法人サロン 2002 理事会 議事録

【日 時】 2017年10月5日（水）18：30～20：45

【会 場】 スペイシー直営完全個室 2F02 アインシュタイン会議室

住所：東京都中央区八重洲 2-2-1 日本酒類販売新八重洲口ビル 2F

【出席】 理事：中塚義実、安藤裕一、笹原勉、嶋崎雅規、竹中茂雄、本多克己、松下徹

事務局：岸卓巨

オブザーバー：川名紀義(理事会からの依頼による出席のため交通費支給対象とする)

【欠席】 理事：関谷綾子、監事：茅野英一、事務局：遠山遼

【議事録作成者】 岸卓巨

【議題】

## I. 2017年度事業 中間報告

➤ 各事業の実施状況・準備状況・会計状況などが各担当理事・事務局より以下の通り報告された。

### 1. 調査研究・情報提供・普及啓蒙事業

1) 月例研究会の開催（嶋崎）

- ・4月18日(火)筑附高「マーケティングの観点から見た2019ラグビーワールドカップ 組み合わせ試案」(井上俊也)
- ・5月25日(木)筑附高「NPO サロンの事業を考える③一月例会」(中塚義実)
- ・6月10日(土)筑附高「今後の展望についての意見交換会」
- ・7月24日(月)フットボールサロン4-4-2「お宝映像上映会—いわゆる「ドーハの悲劇」と「ジョホールバルの歓喜」
- ・8月27日(日)桐陰会館「20周年記念シンポジウム—Befor2002, After2020」
- ・9月15日(金)筑波大附高「エストニアへ行ってきました」(藤原亮治)
- ・10月20日(金)品川宿交流館「東海道品川宿FCのスポーツを通じたゆたかなくらしづくり、まちづくり」(竹中茂雄ほか)

- 4月・5月・7月の月例会については報告書が完成していることが報告された。
- 6月の月例会は意見交換会であったため、通常の月例会報告書は作成しないことが確認された。
- 7月の月例会報告書がホームページに掲載されていないため、本多理事が早急に掲載することが確認された。
- 嶋崎理事よりスポネットメンバー・会員に対して11月以降の月例会テーマ募集の呼びかけをしたところ、張氏より12月以降にFC United of Manchesterについて報告したいとの申し出があった。
- 今後の月例会については、次のような案が出された。
  - 12月は嶋崎理事を中心に部活動をテーマとした月例会を開催する。
  - 12月はじめにFIFAワールドカップ・ロシア大会の抽選会がある。2018年1～3月にはワールドカップもテーマとして扱いたい。
  - Bリーグや障がい者スポーツ、U-18フットサルも今後月例会テーマとして扱いたい。障がい者スポーツについては国際武道大学の松井氏が発表者候補として考えられる。
- 11月の月例会テーマについては結論が出ず、理事会終了後に検討することになった。

2) 公開シンポジウムの開催＝20周年記念シンポジウム—Befor2002, After2020（笹原）

- シンポジウム参加者68名（社会人65名、学生3名）、懇親会参加者51名（社会人48名、学生3名）であったことが報告された。
- 報告書作成関係の収支を除き、公開シンポジウム及び懇親会の開催により123,633円の収益があ

ったことが報告された。収益の多くは懇親会の開催によるもの。昨年度に比べて参加者の年齢層が低かったこともあり、食事や飲み物の量が足りなかったとの反省点が出された。

- 公開シンポジウム開催を通して会員1名、スポネットメンバー3名の新規入会があったことが報告された。

### 3) 広報誌によるスポーツ情報発信→議題Ⅱ参照

## 2. 人的ネットワーク拡充・管理運営事業

### 1) スポーツ文化研究会サロン2002（略称スポネットサロン2002）の運営（事務局）

- 2017年9月末時点でNPO法人会員数32名、スポネットメンバー数72名であることが報告された。2015年度・2016年度の2年連続会費未納により退会処理を行っていた牛木素吉郎氏について特例により退会见送りにすることが合意された。
- 25名程度の会費未納者がいることが報告された。

### 2) 名簿の更新・発行（安藤）

- 公開シンポジウムで新規入会した4名を含め更新版の名簿作成、発送を1週間以内に行うことが報告された。

### 3) ホームページの運営、メールマガジン配信（本多・中塚）

- 2017年7月月例会の報告書を早急にホームページに掲載することが確認された。
- ホームページのトップページより公開シンポジウムの参加申し込みバナーを外すことが確認された。
- ホームページより会員募集のチラシをダウンロードできるようにすることが確認された。
- 月例会についてFacebookでも参加者を募集していることが岸事務局長より報告された。

## 3. 支援・受託・派遣事業

### 1) ユースサッカーリーグ「DUOリーグ」事務局業務受託（事務局）

- 本多理事よりアレヴ社製作のDUOリーグホームページ管理画面の運用が不可となったため、株式会社シックスにて仕様の変更を行ったことが報告された。また、サーバーを株式会社シックス管理のサーバーに移行したことが報告された。以上2点の作業実施に伴い発生した14万円をDUOリーグに請求することが確認された。
- 本多理事よりDUOリーグホームページのデザインリニューアル（スマホ対応版への変更・費用15万円）が提案された。株式会社シックスがリニューアル後のデザインイメージが分かる資料を作成し、DUOリーグに提案することが確認された。
- 上記3点の作業に伴う見積書を株式会社シックスからDUOリーグ宛に作成することが確認された。

### 2) 本法人の目的に合致した事業に対する支援及び受託・派遣

- 岸事務局長より昨年度実施した南大沢でのイベントには今年はイベントの内容の変更によりサロン2002として関わるのが難しくなったことが報告された。

## 4. イベント開催事業（事業名は、事業計画書による）

### 1) ユースフットサル選抜トーナメント2018（共催）（本多・中塚）

- これまで毎年3月に墨田区で開催してきた事業であるが、今年度は2018年3月23日～25日に和歌山で開催することが本多理事より報告された。2012年に創設された「U-18 フットサルトーナメント」の流れを汲む同大会（注：この位置づけについて JFF と NPO サロンの間の認識にずれがあるのが現状）は、(一財)日本フットサル連盟 (JFF) の主催事業として行われ、NPO サロンは共催に入っているが、JFF の方針により今回が最終回となる見込み。

## 2) U-18 フットサルリーグチャンピオンシップ (主催)

- 2018年1月6日～7日に名古屋オーシャンアリーナで開催することが本多理事より報告された。また、当初140万円を想定していた使用料が40万円になった。愛知県フットサル連盟の後援が決定した。昨年度は8チームで開催されたが、今年度は12チーム募集予定。
- toto 助成金は事業終了後に支払われるため昨年度は役員からの借入により事業費に充てたが、今年度は外部機関から借入れる案が笹原理事より出された。政策金融公庫が NPO やソーシャルビジネスにも積極的に貸付しているという情報をもとに松下理事が確認・対応することになった。
- 今年度の協賛金募集の資料を本多理事が作成し、サロン 2002 のネットワークでも募集することが合意された。

## 3) クーベルタン-嘉納ユースフォーラム 2017 (共催) (中塚)

- 今年度は日本でのユースフォーラムが国際ユースフォーラム参加に繋がらない(次回国際ユースフォーラムは2019年フランス開催)ため CORE で主催することが難しく、まだ企画を練ることができていないことが報告された。また、サロン 2002 主催で2018年3月に開催する可能性を探っていることが報告された。

## 4) アート&リサイクルプロジェクト (数カ所で開催)

- 岸事務局長より7月30日に豊島区が開催したオリパライメントで SFT ブースの枠の中でコインケース作りのワークショップを実施したことが報告された。

## 5) ノンボーダー・フットサル

- 今年度は担当者不在(昨年は春日大樹氏が担当)により実施できていないが、今後実施したい意向が確認された。

## 6) その他(会員・メンバーの提案による事業)

- 2017年度に実施した toto 助成事業「U-18 フットサルリーグチャンピオンシップ」について、10月6日に日本スポーツ振興センターによる監査が入り、中塚理事長・本多理事・松下理事で対応することが報告された。

## 5. 国際交流事業

### 1) 国際交流イベント

- 岸事務局長より7月30日に豊島区が開催したオリパライメントで SFT ブースの枠の中でコインケース作りのワークショップを実施したことが報告された。

## II. 「広報誌」について

### 1. 「広報誌」の位置づけとその背景

<理事会での議論における前提>

1) これまでは…

月例会報告 → NPO サロン 2002 の HP に掲載

公開シンポジウム報告書 → 冊子を作成。シンポジウムの部分は HP に掲載

年次報告書 → NPO 法人化以降に作成。HP に掲載

2) これからは…

上記をまとめたものを作成、冊子にする

3) なぜ？

サロン 2002 の“成果”をより多くの方に知ってもらいたい

↓

このような目的で toto 申請したところ、助成金を受けることができた

<理事会での結論>

- サロン 2002 の趣旨である「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」に役立つネタが掲載された資料とする。
- 広報誌のパートを次の 3 つに分ける。
  - (1) 公開シンポジウムの内容と寄稿のページ（これまでの公開シンポジウム報告書）
  - (2) 2017 年度の月例会の内容を紹介するページ（発行日の関係で 2017 年 1～12 月を対象とする）
  - (3) NPO 法人サロン 2002 とは何かを紹介するページ（これまでの年次報告書）
- 今後のスケジュールと役割分担は下記の通りとする。
  - 10 月中 シンポジウムの寄稿の依頼（中塚理事長）  
公開シンポジウムの内容部分について編集の依頼（本多理事）
  - 11 月中 寄稿の原稿提出（候補：湯浅浩志氏、徳田仁氏、川井寿裕氏、春日大樹氏）  
公開シンポジウムの内容部分について編集完了（候補：木村康子氏）  
公開シンポジウムの内容部分について演者確認（笹原理事より依頼）  
月例会の場などで報告書の内容を検討
  - 12 月中 公開シンポジウム部分（寄稿含む）の原稿完成
  - 1 月中 原稿提出・デザイン（川名氏）
  - 3 月中旬 印刷完了・発送（300 部）
- 広報誌とは別に従来の年次報告書は今年度も作成する。（内容は一部重複する）
- 月例会報告は、各月の報告をそのまま掲載するのではなく、抜粋・要約を掲載。月例会の抜粋・要約作業は安藤理事が担当する。

<理事会での議論の内容>

- 広報誌には、「20 周年記念シンポジウム報告書」「2017 年度活動報告」「NPO 法人サロン 2002 の「広報」」の要素を盛り込む。
- 発表者謝礼が toto 助成の対象となっているため、2017 年 4 月以降の月例会については内容を広報誌に盛り込む必要がある。
- 報告書の完成、完成した報告書の発送を 2017 年 3 月までに行う必要があるため、いつからいつまでの月例会を掲載対象とするかについて検討する必要がある。サロン 2002 の事業を扱った 2017 年 1 月・3 月・5 月の月例会の内容はサロン 2002 を紹介する上で参考となる。ラグビーワールドカップを扱った 4 月月例会の内容は一般の人の興味を唆るのではないかと。

- 公開シンポジウムの内容については、既にテープ起こしが終了しているが、音声を文字に起こしただけの段階のため、今後編集作業（文章の修正・図表の挿入・見出しの挿入など）と演者による確認を行う必要がある。編集は木村康子氏に依頼する。
- 公開シンポジウムの内容と寄稿のページは昨年度並み（70 ページ程度）とする。
- 寄稿は湯浅氏、徳田氏、川井氏、春日氏に依頼する。
- toto 助成で作成するため、サロン 2002 の独自予算で増版・販売することは避けた方が良い。